

VIII 農作物価の部

解 説

この部には、「農作物価統計調査」の年次別価格指数（全国）結果を収録した。

調査の概要

1 調査の目的

農業における投入・産出の物価変動を測定するため、農業経営に直接関係ある物価を把握し、その結果を総合して農作物価指数等を作成することを目的としている。

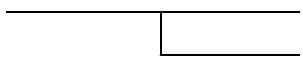
2 調査の対象

- (1) 農産物生産者価格調査
農産物出荷団体等（農業協同組合、出荷組合、集出荷業者又はその団体、食肉卸売市場等）
- (2) 農業生産資材価格調査
農業生産資材を販売する小売店等

3 調査の方法

民間事業者の調査員が調査対象に聞き取りを行う他計調査、又は、調査対象が自ら調査票に記入し、調査員の回収、郵送、ファクシミリ装置（FAX）若しくはオンラインで民間事業者へ報告する自計調査の方法により行った。

4 集計方法

- (1) 基準時
基準時は、平成22年（暦年）1か年とした。
- (2) 指数採用品目
指数に採用する品目は、農産物を120品目、農業生産資材を141品目とした。
- (3) ウェイト
年平均価格指数の算出に用いるウェイトは、平成22年農業経営統計調査経営形態別経営統計（個別経営）結果による全国1農業経営体当たり平均を用いて、農作物については農業粗収益から作成し、農業生産資材については農業経営費から作成した。
- (4) 基準時価格
基準時価格は、農作物価統計調査による平成22年の年平均価格である。
- (5) 算式
ラスパイレス式（基準時加重相対法算式）である。
- (6) 指数の編成
農作物価指数  農産物価格指数
農業生産資材価格指数